

日本教師教育学会における 国際比較研究・国際交流のこれからを考える

日本教師教育学会は、1991年の設立当初より国際研究交流を進めるとともに、諸外国の教師教育の実践や制度を探る国際比較研究を重要な研究課題と位置付けてきました。2020年9月からの第11期体制では、国際比較研究と国際交流を有機的に結合する部会として、課題研究Ⅲ「国際比較・交流」部会が立ち上げられました。国際比較研究を通して諸外国の教師教育研究・実践の中で日本の強みや弱みを相対化し、国際交流を通して日本の教師教育研究・実践を国際的に発信していく基盤の整備から考えていく。また国際交流を通してグローバルな教育課題(SDGsや社会正義等)を踏まえた教師教育の方向性を議論しながら、国際比較研究を通して各国・地域の教師教育やその実践にまつわる共通点や差異を解明する。こうした二つの活動を有機的に結合する素地を作っていくことが、この部会の柱となります。

本研究会では、第11期「国際比較・交流」部会の活動の第一歩として、日本教師教育学会の国際比較研究・国際交流のこれまでを整理した上で、これからの国際比較研究・国際交流の可能性を検討していきます。多くの方にご参加いただき、一緒に教師教育研究そして実践の国際比較・交流のこれからを考えていきたいと思えます。

日時

2021年3月29日(月) 17:00-19:00

開催方法

Zoomでのオンライン開催

(以下の申し込み先URLから事前登録をお願いします。当日までに、ミーティング情報を登録先メールアドレスに連絡します。)

対象

日本教師教育学会 会員

(非会員の方も、会員の推薦があれば参加可能です)

報告テーマ・
報告者

日本教師教育学会における国際比較研究の動向と特徴：
大会発表および『年報』の分析から(仮)

渡邊 晶帆(福岡大学大学院・院生)

国際研究交流部・第10期報告：学会としての国際研究交
流の現在とこれから

矢野 博之(大妻女子大学)

国際比較研究・国際交流の今後の可能性：『教師教育研
究ハンドブック』と諸外国のハンドブックの比較分析から

佐藤 仁(福岡大学)

申し込み先URL:



<https://forms.gle/QuDMcayih3HcCLPk6>

* 3月22日(月)までにお申し込みください。なお、非会員の方は推薦欄に会員の名前を記入してください。

問い合わせ:

日本教師教育学会課題研究Ⅲ
「国際比較・交流」部会担当理事
佐藤 仁

(satohi@fukuoka-u.ac.jp)